

事業経過

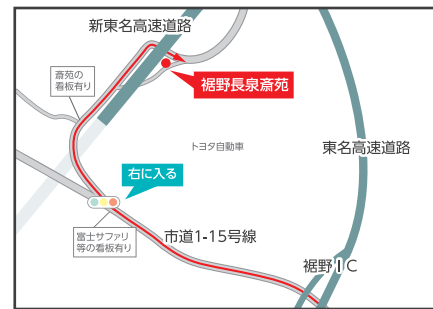
平成 28年	3月	裾野長泉新斎場整備基本調査
平成 29年	4月	新火葬施設の建設に関する事務を裾野市長泉町衛生施設組合に追加
平成 29年	7月	都市計画決定
平成 29年	9月	新火葬施設設計業務委託契約締結(基本計画・基本設計・実施設計)
平成 30年	3月	火葬炉設備業者を決定(公募型プロポーザル)
平成 30年	4月	新火葬施設整備基本計画公表
平成 31年	3月	基本設計・実施設計策定完了
令和 元年	9~10月	建設工事請負契約締結、工事着手(建築・電気設備・機械設備・火葬炉設備)
令和 3年	3月	新火葬施設名称決定
令和 3年	3月	電気設備・機械設備・火葬炉設備工事完成
令和 3年	5月	建築工事一部完成
令和 3年	7月	一部供用開始
令和 3年	12月	事業完了、全面供用開始

案内図

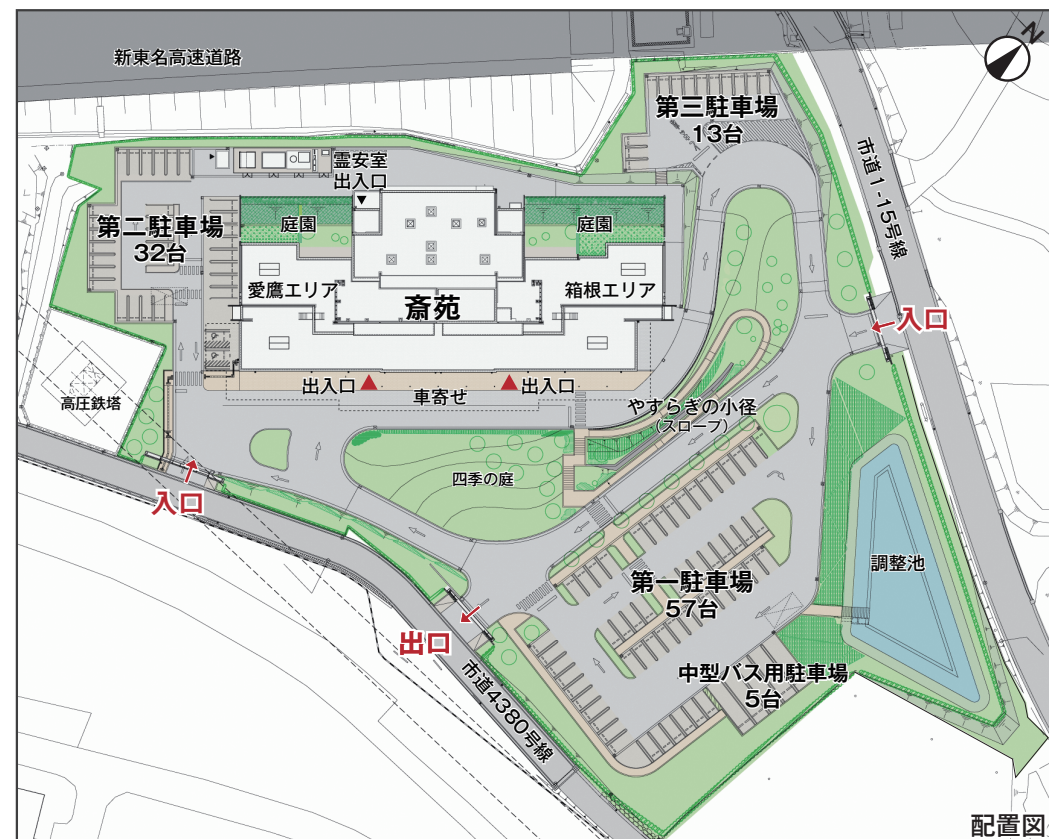
■ 国道 246 号方面から行く場合



■ 裾野 IC 方面から行く場合



配置図



裾野長泉斎苑 麗峰の丘 TEL 055-997-0389 FAX 055-994-9191

れいほう おか 裾野長泉斎苑 麗峰の丘



裾野市長泉町衛生施設組合

施設概要

位 置	静岡県裾野市今里343-1
敷 地 面 積	17,222.55㎡
都市計画区域	市街化調整区域
用 途	火葬場
構 造 規 模	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、地上2階建（2階部分は機械室等）
建 蔽 率	16.98%
床 面 積	火葬施設本体：2,865.17㎡ ※1階：2,359.95㎡、2階：198.39㎡ 車寄せ庇：308.83㎡、外部ごみ庫：8.45㎡ 合計：2,873.62㎡
容 積 率	16.36%
火 葬 炉 数	人体炉4炉+将来増設炉1炉（予定）
排 気 方 式	2炉1排気系統 ※将来増設炉は1炉1排気系統
排ガス冷却設備	熱交換冷却式
火 葬 炉 燃 料	都市ガス、LPガス併用 ※平常時：都市ガス3炉、LPガス1炉、災害時：4炉燃料の二重化
発 電 機	容量：220 KVA、燃料：軽油、タンク容量：390L
受 水 槽	有効容量：6.5㎡
浄 化 槽	処理方式：生物膜ろ過方式、処理対象人員：140人
駐 車 場	約100台
事 業 費	約18億3,700万円（建設工事にかかる費用および家具備品費）

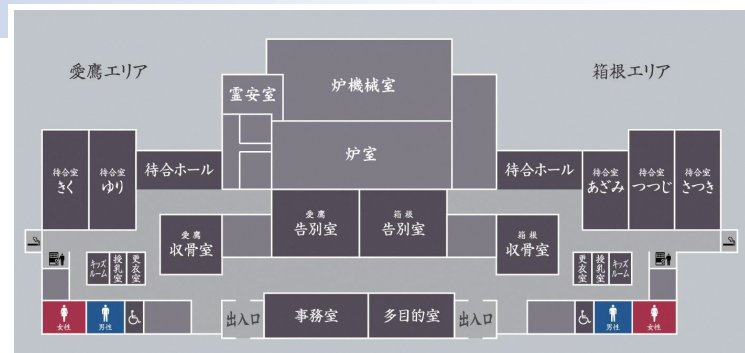
諸室概要

告 別 室	愛鷹エリア1室、箱根エリア1室 ※各50～70人利用可 ※直葬など最期のお別れの場としても利用可能。
収 骨 室	愛鷹エリア1室、箱根エリア1室 ※各50～70人利用可 ※収骨準備室も併設。
待 合 室	愛鷹エリア2室（54人×2）、箱根エリア2室（54人×2）+1室（36人） ※大人数の利用に対応するため室を跨る利用も可。
多 目 的 室	1室 ※会議室としての利用や直葬などの最期のお別れの場としても利用可。なお宿泊を伴う利用は不可。
その他の諸室	待合ホール、キッズルーム、授乳室、更衣室 等 ※愛鷹エリア各1室、箱根エリア各1室。

※直葬とは、通夜、告別式等の儀式は行わず、自宅または病院から直接火葬施設にご遺体を運び火葬する方式をいう

火葬時間（1日最大8件）

9時
10時
11時
12時（2件）
13時
14時
15時



特長

- ①外観正面のデザインは、最期のお別れの場にふさわしい佇まいとなるよう、シンメトリー（左右対称）を強調し、美しさを誇る富士山にふさわしい形としました。
- ②外装仕上げは、火葬施設にふさわしい落ち着いた色調の仕上げとするとともに、耐久性、メンテナンス性、経済性を考慮した合理的な材料を選定しました。
 - ・正面の出入口部の外壁：黒暗褐色タイル
 - ・正面のその他の外壁：コンクリート杉小幅板打ち放し
 - ・車寄せ庇の軒天井：木目調塗装金属パネル
- ③場内を左右に分け、各エリアに出入口を設けることで場内の混雑を緩和し、火葬件数が少ない場合は、片側のみでの運営を可能とし、維持費や運営費の抑制を図ることとしました。
- ④地形に合わせて左側を「愛鷹エリア」、右側を「箱根エリア」としました。
- ⑤一連の儀式動線を回遊型の動線としており、他葬家と交錯しない動線とすることで厳粛な儀式を可能としました。



告別室

壁や床に花崗岩を使用し、火葬炉化粧扉上部のハイサイドライトから自然光を取り入れることで、故人の尊厳を守る厳粛な雰囲気を演出しました。



収骨室

木調の船底天井に包まれた落ち着いた空間としました。入室して正面の壁は、石調タイルとし、故人への尊厳を表現しました。



待合室

天井・床・腰壁に木調材料を使用した温かみのある空間としました。腰壁はメラミン化粧板とし、床はビニル床タイルとすることで清掃性にも配慮しました。



待合ホール

天井に木調材料、床にタイルカーペットを使用し、快適に過ごせる落ち着いた空間とし、窓越しから登庭の上部に富士山を眺めることのできる大きな窓を設けました。